



群馬県立心臓血管センター第11回登録医大会にご出席いただき、誠にありがとうございました！今後とも、当センターの地域医療連携にご支援を賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。H29.10.10(火)開催【於：前橋テルサ】



～平成30年1月現在の外来担当医師を別紙外来担当医一覧表にてご案内いたします～

＜お問い合わせ先＞

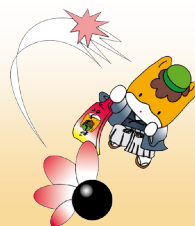
群馬県立心臓血管センター
担当 地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲3-12

☎ 027-269-7455 (内線2040・2041)

FAX 027-269-7286

ホームページ <http://www.cvc.pref.gunma.jp>



群馬県立心臓血管センター

地域医療連携室たより

第47号 平成30年1月発行

～当センターは“地域医療支援病院”です～



＜目次＞

○地域医療連携室より新年御挨拶

○年頭の御挨拶

○年頭にあって

○「群馬県立心臓血管センター第11回登録医大会」のご報告

院長 大島 茂
地域医療連携室長 安達 仁





年頭の御挨拶

院長 おおしま しげる
大島 茂



平成 30 年年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

旧年中は群馬県立心臓血管センターとの地域医療連携にご協力いただき、ありがとうございました。本年も宜しく願いいたします。

心臓血管センターは地域医療支援病院として病診・病病の連携を進めていますが、平成 19 年 10 月に地域医療支援病院の認定を受けてから、ちょうど 10 年が経過しました。この間、登録医師数も着実に増加し、現在 664 名の先生方と連携していただいています。

平成 29 年も地域医療連携室の企画によってさまざまな学習の場が設定されました。院内の医師がミニレクチャーと症例報告を行った 4 回の病診連携症例検討会、院外講師に特別講演していただいた 2 回の学術講演会、10 月に開催した登録医大会などに多くの先生方に参加していただきました。また、外科、整形外科、放射線科などの頑張りも知ってもらうために年 1 回程度開催している、心臓血管センターの循環器内科・心臓血管外科以外の医師と地元登録医の先生方との連携の会を、「群馬県立心臓血管センター外科＋整形外科＋放射線科 第 4 回病診連携の会」として 7 月に開催させていただきました。

さらに、救急隊の方々を対象とした勉強会として『群馬県立心臓血管センター連携企画 救急搬送における消防機関と医療機関の連携強化 ―プレホスピタルの循環器対応を学ぶ―』も年 3 回程度開催しており、11 月に第 10 回勉強会を開催しました。

心臓血管センターでは、24 時間心疾患救急医療体制のもとで心臓血管疾患の治療を中心に

最新の技術を安全・確実に提供することに心がけており、昨年レーザーによる冠動脈形成術（8 月 31 日）、リードレスペースメーカの植込み（9 月 4 日）などの新しい治療を開始し、良好な結果を得ることができました。

本年は新たに経カテーテル的心房中隔欠損閉鎖術の施設基準を取得、治療開始を目指しています。

病院内の出来事ではありませんが、昨年 3 月、病院の西側を通過する上武国道の未開通部分が完成、着工から 40 年以上を経て熊谷・渋川間の国道 17 号バイパスが全通しました。このアクセスの改善により渋川市や北毛地区から心臓血管センターへの救急搬送、通院の所要時間が短縮し、利便性が向上しました。

心臓血管センターでは 3 月末で院長が交代、4 月から新体制がスタートします。地域医療連携室のスタッフも多少代わることになると思いますが、これまで同様病診・病病の連携を宜しくお願いいたします。

登録医の先生方の一層の発展を祈念しまして、平成 30 年年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭にあたって

地域医療連携室長 あだち ひとし
安達 仁



明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、新たな気持ちでまた患者さんのために取り組もうとしているものと存じます。昨年中は群馬県立心臓血管センターとの連携に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

地域医療連携室では、症例報告とミニレクチャーで構成する症例検討会、国内の著名な講師をお呼びして講演をいただく学術講演会、年に 1 回の登録医大会、さらに救急隊との勉強会を開催しており、毎回登録医の先生方におかれましては、お忙しい中ご出席いただき厚く感謝申し上げます。本年も、先生方のお役に立ち、病院と先生方の御施設との距離が近くなるような内容を企画してまいりたいと思っております。

患者紹介率も、お陰様で 70-80%、逆紹介率は 120% と、昨年度とほぼ同様な比較的安定した水準を維持しております。今年も、さらに二人主治医制を周知させて、皆様の後方支援ベッドとしての機能を拡充するとともに、日本の最高水準の医療を実践すべく努力してゆきたいと思っております。

昨年の登録医療機関件数は 523 施設、登録医数は 664 名と、相変わらず多数の御施設・先生方にご参加いただいております。当院と連携しているということで、日常診療に安心感を持って頂いている気持ちの表れとして受け止め、さらに気を引き締めて院内一丸となって仕事を続けてゆきたいと思います。

ここ数年の間で医療技術は目覚ましく進歩しました。以前は長期間の入院を必要とした大手術がカテーテルを用いて治療できるように

なってきました。それに伴い、入院日数は減少し、当院でのフォローアップ期間も短縮し始めております。その分、手術後比較的早期から連携施設の先生方にフォローをお願いすることが増えているかもしれません。診察のポイントがわからないときにはいつでもご連絡ください。また、器具そのものも変化し、リードレスペースメーカのように心臓内にリードを残さずに治療ができるようになりました。体や心臓に優しいデバイスが次々と出現しています。当院では、常に最先端の技術を取り入れるべく、日々努力しております。ご期待ください。

また、昨年の 4 月には、当院の心臓リハビリテーション施設が NHK の「ガッテン！」に出ました。医療関係者からの紹介ではなく、直接 NHK から出演を依頼されたことに、いよいよ当院の心臓リハビリテーションも日本のトップレベルに到達できたのではないかなと思っています。

今年は病院の体制が大きく変わりますが、地域医療連携部門では、相変わらずいろいろと連携の会を企画致します。連携施設の先生方との距離がさらに近づけることを祈っております。今年もよろしくお願い致します。

